

# 番組審議会

## 第662回

2022年7月11日

### ■ 審議会の構成

委員総数 10名

委員長 音 好 宏

副委員長 中 江 有 里

委 員 江 澤 佐 知 子 萱 野 稔 人

喜 田 村 洋 一 佐 藤 智 恵

長 嶋 有 水 無 田 気 流

目 加 田 説 子

尾 縣 貢 (リポート提出)

TBSテレビ 佐々木 社 長

龍 宝 取締役

井 田 取締役

瀬戸口 編成局長

米 田 報道局長

佐 藤 報道局デジタル編集部長

河 村 報道局デジタル編集部

中 田 編成考査局長

村 田 編成考査局視聴者サービス部長

天 野 番組審議会事務局長

### ■ 議事概要

#### 1. 審議事項

(1) 「TBS NEWS DIG」について報告(報道局)

(2) その他

#### 3. 事務局報告事項

(1) 視聴者からの声について

(2) 次回審議会の議題及び日程について

【委員の主な意見】（「TBS NEWS DIG」について）

□玉石混淆のネットニュースが溢れる中、ノウハウのあるテレビ局が信頼性のあるプラットフォームをつくる試みは意義深い。プライドを持って、独自の立ち位置を築いて欲しい。

□系列局間でシステムをなかなか統合できない事情もあったと思う。ここまでシステム統合できて、各ローカル局でしか見られなかったニュースが、一つのアプリを通じて見られることの意義は非常に大きい。

□自社サイト・自社アプリへのユーザーの囲い込みが、勝負のポイントとなる。JNN28局を統合したプラットフォームをつくることは、経営的に正しい戦略だ。

□課題は発想の転換。テレビの成功パターンにとらわれていると、うまくいかない。ニューヨーク・タイムズやウォールストリート・ジャーナルが、アクセスを増やすためにどれ程工夫をしているかなど、参考になる。

□ウラが取れていないネット情報と、信頼性のある情報を、同じように消費してしまう層に対し、信頼性のあるニュースを読んだり見たりする習慣をつける、非常に大きな社会的意義を感じた。

□コンテンツは、テキストデータで読めることにより、動画視聴層とは別の、情報が本当に必要なユーザーにも届けることもできる。

□非常に高いコンプライアンスが求められるテレビ局が制作することで、このアプリは信頼が担保された「メディア」となる。こうした試みにより、テレビをどう再定義していくのか、今後大きな作業として必要になるだろう。

□女性ユーザーをより集めたいのであれば、カテゴリーの中に「健康」があっても良いのではないかな。

□ネット記事は、自分が期待したものがあるかどうか確認する作業で、どうしても見たいものは検索してでも見る。テレビとネットでは、自分のアンテナの張り方が全く違うと、改めて確認した。

□制作現場に今以上に負荷がかかるため、出稿をどう使い、かつどうマネタイズするのか。多くの可能性があるので、こうした新たな課題に取り組んで欲しい。

TBSでは番組審議会委員のご意見を真摯に受け止め、今後の番組内容の向上に活かしていく所存です。(TBSテレビ番組審議会事務局)